

# 平成31（2019）年度 事業計画

本年度、日展は公益社団法人へ移行し8年目を迎えます。引き続き会員一人一人が公益法人としての日展の役割を自覚し、美術文化の振興・発展に寄与するべく、公益目的事業の達成に努めてまいります。また、これまでの長い歴史と伝統を踏まえつつも、しっかりと将来を見据え、より良い運営のため必要な改革を実行してまいりたいと存じます。

本年度実施する各事業の内容詳細は別表計画書の通りであります。まず、今秋開催予定の改組 新 第6回日展は、第1回文展まで遡れば112年目の展覧会であり、六本木の国立新美術館における開催は、13年目となります。

前々回からの展示面積縮小に対応して変更した会場構成を改めて検証し、更に鑑賞しやすい陳列方法等を検討するとともに、前回より短縮となった展覧会期（従前より2週間短縮）について、昨年とは事前告知が十分でなかった反省から、その周知徹底に努めてまいります。

一方で、2020年の東京オリンピック開催を前に、鑑賞者の多様なニーズに応え、すべての人が展覧会を楽しむことができる環境の整備に向けて、グローバルな視点での研究、検討を進め、実践してまいります。

また、前回より導入した日展公式ウェブサイトにおけるチケット購入システムについて、更なる利便性の向上を図ります。なお、消費税率改定に伴い、各種入場料金を改定いたします。

広報活動においては、引き続き費用対効果を念頭に置きつつ、改組 新 第6回日展の基本的な情報や会期中の各種イベントをはじめとした公益法人としての取り組みを効率的な媒体で幅広く発信し、特に、新たな入場者獲得を目指す上で重要な媒体となるSNSの有効活用には、更に力を注いでまいります。

そのほか、自治体や教育機関等のニーズに合わせたサポートを提供いたします。

「美術に関する講演会及び講習会の開催事業」として日展会期中に開催している「講演会」、「映像による作品解説」、「らくらく鑑賞会」、「ミニ解説会」については、それぞれにおいて参加者の満足度を向上、維持できるよう、更なる内容の充実を図るとともに、各イベントの告知にも力を入れてまいります。

「美術鑑賞及び創作に関する体験講座の開催事業」として開催する「わくわくワークショップ」及び「夏休み一日ART体験 Oneday Art」については、いずれも日展の作品、作家と一般の方々との交流を通じ、体験することで生まれる発見や感覚を共有する日展独自の普及活動として10年以上継続して実施しております。

「夏休み一日ART体験 Oneday Art」において制作した作品については、例年同様、広く一般の方々の目に触れる場所での展示も行っております。

今後も一過性のものでなく、継続する楽しみを伝えながら、将来的な出品者、鑑賞者の取り込みに繋げるべく、展覧会期以外に実施している「アートスクール」と同様、年間を通じ、美術の普及を目指します。

「研究冊子及び図書の刊行事業」については、印刷製本費を削減するため、印刷業者の見直しをおこないます。販売面では、消費税率改定に伴い、刊行物の定価を改定いたします。また、巡回展開催のない地域における委託販売店の新規開拓をおこない、増収に努めます。なお、出版物制作のために撮影した日展陳列作品の画像データについては、希望する会員・出品者に販売いたします。

広報紙「日展ニュース」については、発行回数の変更に伴って企画内容等の更なる充実を図るとともに、発行に係る経費の節減に努め、例年同様、日展出品者及び美術関係機関等に送付いたします。

また、美術に関する研究・調査としては、日展会館及び日展新会館を美術関係団体等の作品陳列や研究会の場所として貸し出すとともに、今後の活用方法についても検討してまいります。なお、会館の施設利用料金については見直しをおこなって改定いたします。

財務関係では、資産として引き続き日展会館の将来の再建設に備えて預金を積立てるとともに、事業全般の費用の見直し・再配分を行い収益の向上を図ります。また、会計処理の電算化を推進し経理業務の効率化を目指します。

# 平成31（2019）年度事業計画書

自 平成31（2019）年4月 1日

至 令和 2（2020）年3月31日

| 項 目   | 内 容   |
|---|---|
| <p><b>「日本美術展覧会」の開催</b><br/>(改組 新 第6回日展)</p>   | <p>日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5科からなる総合美術展。<br/>(会 期)11月1日(午前10時開会)～11月24日(午後6時閉会)<br/>毎週火曜日休館<br/>(会 場)国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)<br/>(授 賞)内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞<br/>日展規則に定める対象作品中、特に優秀なものを大臣賞として各大臣あてに推薦。(各科1名以内)<br/>内閣総理大臣賞 日本画、洋画<br/>文部科学大臣賞 彫刻、工芸美術、書<br/>東京都知事賞<br/>大臣賞に次ぐ賞として、日展規則に定める対象作品中、特に優秀なものを東京都知事あてに推薦。(各科1名以内、計5名以内)<br/>日展会員賞<br/>日展規則に定める対象作品中、特に優秀なものに日展会員賞を授与。(各科1名以内、計5名以内)<br/>特選<br/>入選作品中、優秀なものに特選を授与。(各科10名以内、計50名以内)<br/>(巡回日展)東京会場終了後、京都、名古屋、大阪、安曇野、金沢、長崎を巡回予定。</p> |
| <p><b>美術に関する講演会及び講習会の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会／映像による作品解説</li> <li>・らくらく鑑賞会</li> <li>・ミニ解説会</li> </ul>                      | <p>日展会期中に国立新美術館との共催により開催。専門的・客観的視点でのテーマを設けた講演会や各科独自にシンポジウム形式の討論会を行うほか、日展作家が各科出品作品を映像によりわかりやすく解説。(11月2日、4日、8日、9日、16日、23日開催予定)<br/>日展会期中に国立新美術館との共催により開催。日展作家が全科主要作品を解説。参加者は昼食、休憩をはさみ、ゆっくりと鑑賞。(予約制 11月6日、11日、18日開催予定)<br/>日展会期中の平日(土曜・日曜・祝日・展覧会初日を除く)に開催。各科出品作家が30分程度で主要作品を解説(予約制)</p>  |
| <p><b>美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アートスクール</li> <li>・わくわくワークショップ</li> <li>・夏休み一日ART体験<br/>Oneday Art</li> </ul> | <p>日展会館において定期的に開催。<br/>日展会期中に国立新美術館との共催により開催。(予約制 11月3日、10日、17日開催予定)<br/>日展会館及び日展新会館において夏休みの子供を対象に開催。(予約制)</p>  |

| 項 目   | 内 容  |
|---|--|
| <p><b>研究冊子及び図書の刊行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出版物制作、頒布</li> <br/> <li>・「日展ニュース」の発行</li> </ul> | <p>本年度の日展陳列作品を掲載した刊行物と絵はがき・写真類を制作、販売。</p> <p>「日展目録」<br/>         作品名・作家名等を陳列順に列挙。</p> <p>「日展作品集」<br/>         全会員、審査員、受賞者の陳列作品をオールカラーで収録。<br/>         巻末資料として、作家本人による作品解説および釈文(書)を掲載。</p> <p>「日展図録」(5科5分冊)<br/>         科別に全出品作品を収録。日本画・洋画・彫刻・工芸美術部門はオールカラー、<br/>         書部門は一部カラー。</p> <p>その他、日展作家・作品に関連した商品を企画し制作、販売。</p> <p>日展の広報紙。年3回発行し、出品者及び美術関係機関等に送付。<br/>         (6月頃、9月頃、1月頃発行予定)</p> |
| <p><b>美術に関する研究及び調査</b></p>  | <p>日展会館及び日展新会館のスペース貸出し</p> <p>美術に関する研究及び調査の一環として、日展会館及び日展新会館のスペースを主に美術関係団体等に貸し出し、作品陳列や研究会の場として提供。</p>  |